

すべては名護屋からはじまった—



異郷に生きて

文禄・慶長の役と
佐賀の被擄人

ひりょにん



朝鮮陶工によって
発展した肥前陶磁

染付山水文水指
佐賀県重要文化財
佐賀県立九州陶磁文化館蔵

2016(平成28)年

6月10日(金)～7月24日(日)

観覧無料

- ・休館日/毎週月曜日(ただし、6月27日、7月18日は開館、7月19日は休館)
- ・開館時間/午前9時から午後5時まで
- ・主催/佐賀県立名護屋城博物館
- ・出品協力/有田町教育委員会、唐津市教育委員会、多久市教育委員会
佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立博物館、多久市郷土資料館

学芸員による展示解説 6月19日(日)、7月17日(日) ともに午後3時15分～午後4時



「忍」の書を遺した

洪浩然画像(部分)
佐賀県重要文化財
本館蔵



佐賀県立 名護屋城博物館
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1931-3
TEL: 0955-82-4905 / FAX: 0955-82-5664

名護屋城博物館

検索

異郷に生きて 文禄・慶長の役と佐賀の被擄人

名護屋城跡そして周辺に点在する陣跡は、豊臣秀吉による大陸侵攻（文禄・慶長の役）の出兵拠点として築かれた城郭群の遺跡です。7年におよんだ文禄・慶長の役では、日朝双方で多くの命が失われただけでなく、朝鮮半島の人々が日本各地へと多数連れてこられました。これらの人々は「被擄人」と呼ばれ、日本の文化や歴史に大きな影響を与えています。

佐賀県においては、朝鮮陶工の技術による影響が大きく、いわゆる「李参平」（金ヶ江三兵衛）が創始したとされる初の国産磁器・有田焼（伊万里焼）や茶陶としても好まれる唐津焼などの陶磁器産業が発展しました。また、能書家として活躍した「洪浩然」、鍋島更紗を創始したと伝わる「九山道清」なども知られています。

本展覧会では、有田焼創業から400年の節目を契機として、佐賀県における被擄人たちの足跡を御紹介します。



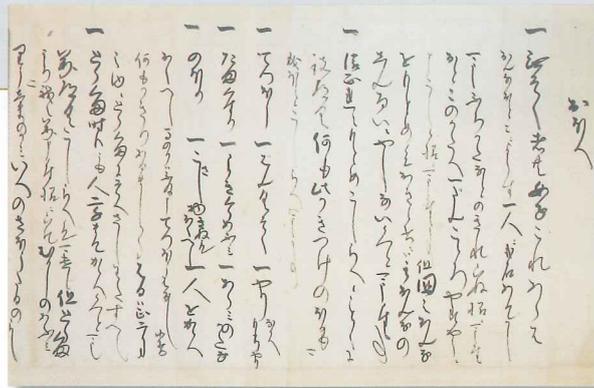
朝鮮陶工によって発展した肥前陶磁

(左) 鉄絵瓜文瓶 1590～1610年代
(右) 染付山水文水指 [佐賀県重要文化財] 1610～1630年代
ともに佐賀県立九州陶磁文化館蔵



すべてはここから始まった

肥前名護屋城図屏風 [佐賀県重要文化財]
江戸時代前期 本館蔵
展示期間：6/10～7/10 (7/12以降は複製を展示)



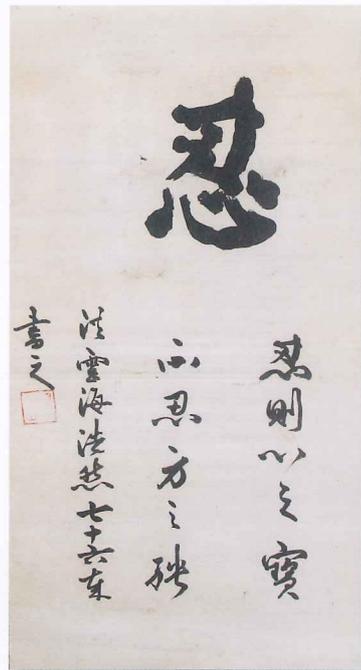
大名は戦場から何を伝えたのか

加藤清正自筆覚書（冒頭部分）
天正20(1592)年 本館蔵



染色技法の伝来を物語る

鍋島更紗秘伝書（部分） [佐賀県重要文化財]
江戸時代後期 佐賀県立博物館蔵
展示期間：6/10～7/3



被擄人・洪浩然の想い

洪浩然書「忍」 [佐賀県重要文化財]
明暦3(1657)年 本館蔵

大河ドラマ「真田丸」全国巡回展（観覧無料）

2016(平成28)年 6月24日(金)～7月3日(日)

会場／名護屋城博物館 主催／NHK佐賀放送局・名護屋城博物館

真田氏も在陣した名護屋の地で、NHK大河ドラマ「真田丸」の魅力とドラマが描く時代を写真や映像、番組で使用した小道具・衣装などを通して御紹介します。



佐賀県立名護屋城博物館までのアクセス

- 【公共交通機関】
 - ・唐津大手口バスセンターもしくは JR 西店駅駅から昭和バスで約40分
 - ・「名護屋城博物館入口」下車、徒歩5分
- 【自動車】
 - （福岡方面から）
 - ・福岡都市高速・福里ICから前原有料道路・二丈浜玉道路を利用し約60分
 - （佐賀方面から）
 - ・長崎自動車道・多久ICから約70分